プレスリリース　　2025 年 7 月

令和 6 年能登半島地震・令和 6 年奥能登豪雨復興支援事業

「ひと、能登、アート。」

文化財（アート）がつなぐ。Art for the Noto Peninsula

約 80 件の文化財（アート）が能登のために集結

2024 年 1 月に発生した能登半島地震、さらに 9 月の奥能登地域における豪雨災害により被災された皆様に寄り添うべく、復興を支援する想いを込めた事業を実施します。

このうち展示事業では、都内を中心とした 30 近い文化施設や個人の所有する約 80 件の文化財が、各所蔵者からの復興への祈りのメッセージとともに石川県金沢市の 3 会場に集結します。

東京国立博物館からはすでに出品が発表されている重要文化財「遮光器土偶」（青森県つがる市出土）、重要文化財「湖畔」（黒田清輝筆）、「見返り美人図」（菱川師宣筆）といった同館を代表する名品に加え、動物たちが人々の営みを生き生きと演じる姿を描く重要文化財「鳥獣戯画断簡」、威厳のある理想的な武士の姿を表す重要文化財「伝源頼朝坐像」、近年大きな注目を集める江戸時代中期の画家・伊藤若冲の「玄圃瑤華」「松梅孤鶴図」といった各分野・各時代を代表する文化財の出品が決まりました。

さらに本事業趣旨に賛同する各文化施設などが自ら選定し、復興を支援する想いを込めた文化財の出品も続々と決定しています。東京国立近代美術館（東京・竹橋）からは「丹鶴青瀾」（平福百穂筆）、「千羽鶴」（加山又造筆）といった近代日本画の名品。また石川県とゆかりの深い作品として、永青文庫（東京・目白台）からは同県に生まれ輪島の漆芸技術の発展に尽力した人間国宝・松田権六の「双魚文漆絵皿」、泉屋博古館東京（東京・六本木）からは石川県工業学校（当時）で教鞭をとり後に帝室技芸員として日本の陶磁史に大きな足跡を残した板谷波山の「葆光彩磁葡萄唐草文花瓶」など珠玉の工芸品が出品されます。

数百年の時を重ねて大切に守り伝えられてきた文化財の数々は、自然災害が絶え間なく襲う日本において、時に人々の安らぎの心を求める強い祈りが込められて造られてきたものです。そうした想いを被災された皆様への励ましのメッセージとすることを本事業では目指し、多くの賛同者からの出品や支援を受けて準備を進めています。

出品作品や事業の全容につきましては決定次第順次公式サイト等を通じてお知らせします。

【本件に関するお問合せ】
「ひと、能登、アート。」広報事務局（共同 PR 内）　担当：三井
E-mail. hito-noto-art -pr@kyodo-pr.co.jp
TEL. 03-6264-2382 / FAX. 0120-653-545

【展示事業 開催概要】

■ 会期・会場 ：

2025 年 11 月 15 日（土）～12 月 21 日（日）　　石川県立美術館

2025 年 12 月 13 日（土）～2026 年 3 月 1 日（日）　金沢 21 世紀美術館

2025 年 12 月 9 日（火）～2026 年 3 月 1 日（日）　国立工芸館

■ 主催：石川県立美術館、金沢 21 世紀美術館、国立工芸館、石川県、金沢市、東京国立博物館

共催：北國新聞社

後援：ＭＲＯ北陸放送、テレビ金沢、ＨＡＢ北陸朝日放送、石川テレビ放送、北陸中日新聞、朝日新聞社、ＮＨＫ、産経新聞東京本社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞東京本社

【各会場での主な展示作品】

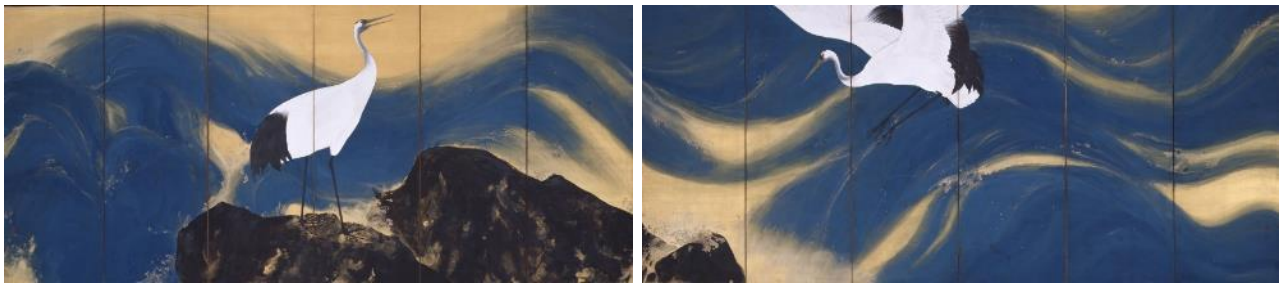
本事業にご賛同頂いた都内を中心とした美術館・博物館・個人から、励ましの想いとメッセージが込められた文化財の出品を受けて展示を構成します。東京国立博物館からも、当館を代表する文化財を多分野にわたり出品いたします。

石川県立美術館　会期：2025 年 11 月 15 日～12 月 21 日

重要文化財　鳥獣戯画断簡
平安時代・12 世紀　東京国立博物館蔵

重要文化財　伝源頼朝坐像
鎌倉時代・13～14 世紀
東京国立博物館蔵

祇園祭礼図屏風
江戸時代 17 世紀　サントリー美術館蔵



丹鶴青瀾　平福百穂筆　大正 15 年(1926)　東京国立近代美術館蔵

金沢 21 世紀美術館　会期：2025 年 12 月 13 日～2026 年 3 月 1 日

(左)
イヴリー河岸　アンリ・ルソー作
1907 年頃　アーティゾン美術館蔵

(右)
聖徳太子像　佐藤朝山作
大正 8 年(1919)　東京国立博物館蔵

国立工芸館　会期：2025 年 12 月 9 日～2026 年 3 月 1 日

(左)
染付松樹文三脚大皿
有田・鍋島藩窯
江戸時代・17～18 世紀
サントリー美術館蔵

(右)
葆光彩磁葡萄唐草文花瓶　板谷波山作
大正 4（1915）年頃　泉屋博古館東京蔵

【国宝「松林図屏風」を題材とした映像コンテンツ事業＋普及事業】

能登・七尾の地に生まれた長谷川等伯によって描かれ、多くの人々を魅了する国宝「松林図屏風」。

この能登の地とも縁の深い作品を通じて、被災された皆様へ復興への祈りを届けられるよう、本支援事業のうち映像事業として、『8K×国宝　いま見つめる「松林図屏風」』が東京国立博物館とＮＨＫにより共同制作されました。

令和 7 年 3 月 29 日、30 日には七尾市内にて先行公開が行われ、多くの地元の方にご覧いただくことが叶いました。同映像についてはより多くの方にご覧いただけるよう、今後の公開機会を企画しております。詳細は決まり次第お知らせします。

また 2025 年 9 月から 11 月の期間で輪島市、七尾市、志賀町の各市町に所在する小中学校等教育機関計 16 校にて同作品の高精細複製品等を使用した普及事業（訪問授業）の実施を予定しています。石川県そして能登にゆかりのある文化財の複製の鑑賞を通じて「地域の文化を守り伝える」心を育む機会となれば幸いです。

七尾市矢田郷地区コミュニティセンターにおける制作映像の先行公開の様子（令和 7 年 3 月 30 日）